

# 平成27年度 学校評価実施報告書

学校名( 京都市立明德幼稚園 )

## 1 平成27年度 重点評価項目

本年度から実施している、長時間預かり保育も含めた、預かり保育の充実について評価する。

## 2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にわらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価		
						評価日	平成27年10月19日	評価日	平成27年10月23日	
						評価者・組織	全教職員		評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校評議員による改善 に向けた支援策	
1	遊びの充実	安定した園生活	子どもたちが安心・安定して登園できるような教職員のかかわりを意識し実践	子どもは喜んで幼稚園に通っているか	年少・年長とも「そう思う」「大体そう思う」が100%	⇒	・安心して登園し、遊ぶという幼稚園で一番大切にすべきことが出来ている。更なる遊びの充実を目指して保育をしていく	⇒	子どもが安心して園生活を楽しんでいることがうかがえる。	遊びの充実に向けてサポートできることがあれば支えていきたい。
		遊びの充実	全教職員連携の元、保育を充実させる努力	子どもは自分から夢中になって遊んでいるか	年少・年長とも「そう思う」「大体そう思う」が100%					
2	豊かな心	体験活動の意義、体験活動への意欲	充実した体験活動を保障できるよう計画・実践、精査していく	様々な体験に心を動かしているか	年少・年長とも「そう思う」「大体そう思う」が100%	⇒	・体験活動が子どもの成長にとって意義深いと捉えていただいている。・年長になると家庭での時間が多忙になることや、絵本への興味の個人差が出てくることで、「絵本を楽しむ」ことに差が出てくるのかもしれない	⇒	豊かな体験が出来ていると感じていただいていることはとても嬉しい。	引き続き関連事業(田んぼ遊び・お茶会・子育て支援チーム「ころころ」)による読み聞かせ等で、園の連携してバックアップする。
		読書活動の充実	絵本貸出しの機会を十分に保障。絵本ノートの活用。運営協議会による読み聞かせを実施	絵本を親子で楽しんでいるか	「そう思う」「大体そう思う」が年少97.7年長86.4%					
3	規範意識	自立の姿・物とのかかわりの姿	自立できる環境作りと援助へ努力。規範意識を視点に教職員で人権研修を実施	自分のことを自分で自分でしているか/物を大切にし片づけをしているか	左記の項目について「そう思う」「大体そう思う」が年長になると数値が上昇	⇒	年齢なりの成長を捉えていただいていると感じるが、より身についていくよう努力する必要がある。	⇒	子どもたちにとって始末のしやすいわかりやすい環境作りや、教師の丁寧な援助をめざしていく。	子どもたちが規範意識をもって成長していけるよう、地域も一丸となって見守っていきたい。
		友だちとのかかわり	生活の中で友達と十分にかかわれる保育内容、年齢に合ったやりとりの充実を目指す教師のかかわり	友達と遊ぶことを楽しんでいるか(年少)友達に自分の思いを伝えているか/友達への思いを聞いて一緒に遊ぶとしているか(年長)	年少「そう思う」「大体」が97%年長は思いを伝えることは93.5聞くことは97%が「大体」を含め出来ていると回答					
4	独自の取組	情報発信・連携	ホームページの密な発信、わかりやすい園便りを目指す努力。	園は教育方針や子どもの様子をわかりやすく伝えているか	「そう思う」「大体そう思う」が年少100年長98%	⇒	前年度の評価を生かして発信を努力したことが生きている。預かり保育については、特に仕事をしている保護者にとって非常に有意義。おやつや量の公表、内容の公表についての意見が自由記述欄にあり、当日の出欠の変更の多い中、どのように知らせるか課題。	⇒	これからも発信を重ね、入園児の募集に努力してほしい。	協議会として預かり保育でできることがあれば協力していきたい。
		登降園時の保護者への発信(保育について)	幼稚園は家庭と連携して保育をすすめているか	年少・年長とも「そう思う」「大体そう思う」が100%	利用した人は98%が「そう思う」「大体そう思う」と回答。特に保護者の満足感が大きい					
	預かり保育	長時間預かり保育の実施を含めた預かり保育の充実	預かり保育を利用してよかったか/子どもにとって預かり保育は意義があるか							